



第416号

公益社団法人
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088) 636-1234(代)
FAX (088) 636-1122
発行責任者 大坂 利 弘
編集者 原岡 艶 甲

浄化槽の日

第28回全国浄化槽大会開催

平成26年10月1日、東京都千代田区の東京會館で、第28回浄化槽大会が開催された。

浄化槽の日の事業として、毎年、浄化槽関係19団体が構成する実行委員会が開催している。

大会には関係者約800名が参加し、盛大に開催された。

まず、「浄化槽の日」実行委員会を代表し、全浄連の上山健治郎会長が開会挨拶をした後、来賓が祝辞を述べ、浄化槽適正整備推進決議の採択が行われた。

その後、功労者の表彰が行なわれ、環境大臣表彰21名、国土交通省土地・建設産業局長表彰4名、国土交通省住宅局長表彰1名、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長表彰19名が表彰された。

式典終了後は、宮城大学食産業学部環境システム学科教授岩堀恵祐氏が「古今東西糞尿譚〜今後の浄化槽に期待する!〜」と題して講演を行った。

その後行われた懇親会には、望月義夫環境大臣や太田昭宏国土交通大臣など多くの議員が駆けつけた。

四国地区・九州地区

検査機関検査員研修会

平成26年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の検査員研修会が、9月4日(木)、5日(金)の両日、愛媛県松山市の国際ホテル松山で開催された。

研修会では四国4県の検査機関から68名の他、昨年度に引き続き九州地区の検査機関から6団体19名が参加、計87名となった。

第1日目は、ホスト県である(公社)愛媛県浄化槽協会の寺井会長より開会挨拶があったあと、4つの部会に分かれ、「管理運営部会」では検査管理の運営状況、「検査部会A」では検査の実務状況、「検査部会B」では浄化槽台帳の運用状況、といったそれぞれのテーマについて活発な情報や意見交換が行われた。「水質検査部会」では、笠原理化学工業(株)営業グループリーダーの青鹿弘典氏より「適正な水質検査器の使用方法について」と題した講演が行われた。

その後、開催地元メーカーである(株)ダイキアクシスの生産開発課高橋亘氏より、「性能評価型浄化槽の開発について」講演が行われた。現場担当の検査員に

としては浄化槽の新規開発の過程に接する機会がほぼ無いことから、設計から性能評価試験、成型や製造について実際の現場写真や開発時のエピソードを交えた解説は、非常に勉強になる内容であった。

研修の後、午後6時より懇親会があり、和やかな雰囲気の中で各県・ブロックの枠を超えて参加者間で意見交換や親交を深めた。

翌2日目には、四国4県から5名の研究発表会があり、当県からは富崎検査員が、昨年度より取り組んでいるプライバシーマークの取得に関する内容について発表を行った。

また、前日に開催した分科会における結果について各座長より報告が行われ、最後に、(公社)愛媛県浄化槽協会の松井参与からの閉会の挨拶で、2日間の研修会を締めくくった。

なお、2日目に発表された研究発表の標題および発表者は以下の通り。

- ①ばっ気停止時における試料の適正な希釈倍率設定を行うための考察
(公社)愛媛県浄化槽協会 鴨崎 太樹
- ②南海地震に備える〜検査員用非常持出袋について〜
(一財)高知県環境検査センター 森 巳希子
- ③個人情報保護マネジメントシステム導入の取り組み〜プライバシーマークの取得を目指して〜
(公社)徳島県環境技術センター 富崎 信也
- ④11人槽以上の未受検施設の実態調査及び戸別受検推進事業についての報告
(公社)香川県浄化槽協会 新名 宏規
- ⑤(株)ダイキアクシスMCP型浄化槽の運転方法変更による水質改善について
(公社)愛媛県浄化槽協会 上甲 祐治



全体会議
開会のようす



検査部会



一括契約推進協議会の 海部地区 設立を承認

10月8日(水)午後2時 牟岐町役場会議室において、牟岐町・美波町・海陽町の浄化槽維持管理一括契約推進協議会が開催された。

海部地区4業者及び検査機関・牟岐町住民福祉課・美波町建設課・県水・環境課から計13名が出席した。

開会の後、事務局から協議会の仕組みや適正な維持管理に関する説明をしたあと議事を進めた。

まず、議案1で一括契約推進の方策について協議し、協議会は一括契約に関するチラシの作成及び配布を担当、県及び3町についてはホームページや広報紙により住民への周知を行うことが提案された。

次に議案2では、一括契約の手続きや運営のルールを審議した。

なお、海部郡は高齢世帯が多いため、チラシや広報紙の配布以外に、設置者に理解されるよう、説明時には、丁寧に説明することが必要ということで意見が一致した。

最後に、役員の選出が行われ、次のとおり選任された。

会 長 カイフカンキョウ協業組合 金本 修氏

副 会 長 大田環境設備 大田光雄氏

会計監事 宮本水環境サポート 宮本賢一氏



一括契約推進協議会の 設立を承認 三好市

三好市の水環境の保全に向けた総合的な施策に取り組む徳島県は、10月7日午後3時、三好市池田総合体育館で「三好市一括契約推進協議会」を開催した。会には、三好市を営業区域とする業者7社の代表及び検査機関及び三好市環境課2名、県水・環境課は、川端課長と鈴江真由子主任主事が出席した。

まず、川端課長が挨拶をしたあと、事務局から協議会設立の趣旨を説明し、議事を進めた。

第1号議案では、一括契約を推進するための会員の役割について協議が行われ、「協議会がこれから何をしようとしているか、会員も十分に理解し、管理者に分

かりやすいチラシなどを作成して、粘り強く説明に回ることが必要」などの意見が出された。

三好市では、広報紙・ホームページなどで市民への周知を図り、協議会を支援する予定。

第2号議案では、事務局から協議会の規約案が示され、名称を「三好市一括契約推進協議会」とすること、「事務局を当分の間、センター内に置く」ことが満場一致で承認された。

続いて、役員の選出について協議が行われ、つぎのとおり選任された。

会 長 (有)久保衛生 久保真人氏

副 会 長 (有)阿波池田浄化槽サービス 岡崎光二氏

会計監事 池田浄化槽清掃管理センター 谷 尚美氏

施工技術委員会開催 設備士証の発行決まる

県環境技術センターは9月26日(金)午後4時から、第2回施工技術委員会をセンター4階会議室で開催した。

当日は、委員9名が出席、高尾委員長の挨拶のあと、前回からの検討事項である設備士証について協議を行った。

設備士証は、「なりすまし」や「名義貸し」を防止するために、資格者本人が現場で立ち会いしていることの証明になる顔写真入りの設備士証を発行して、現場写真を撮影し、会員自らが率先して行政にその写しを提出することで、適正な施工を推進していくことを目的としている。

今回、事務局から発行規程、各種提出書類や発行前講習会につき提案した。

説明後に原岡事務局長は、講習を受講した設備士が将来一段高いレベルの仕事ができるような制度にしたいと述べた。

各委員から発行時の費用や講習会の時期、制度の周知について意見が出され、来年度4月からの運用を目指し、準備していくことで全委員が同意した。

この後、県水・環境課川端課長が急遽委員会に出席、「県は一括契約で、浄化槽の適正な維持管理を進めているが、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進が課題となっている。推進に当たって県は、あらゆる手段を使って県民に訴えていくので、工事業者の方にもご協力いただきたい。」と依頼した。



浄化槽の日啓発活動に参加

県水・環境課は、10月が「浄化槽月間」になっていることに因み、浄化槽の適正な維持管理に関する啓発活動を県下東部・南部・西部の3地区4カ所（下記）で行った。

環境技術センターも、水・環境課と共催で、この活動に参加した。

啓発会場となった、それぞれの会場では、街頭キャンペーン形式で、県水・環境課、各市町村、センター役職員で広報活動に取り組んだ。

東部 1日 パワーシティー鳴門（鳴門市）

南部 23日 ザ・ビッグエクストラ阿南店（阿南市）

東部 24日 ゆめタウン徳島（藍住町）

西部 31日 フレスポ阿波池田（三好市）

啓発活動の内容は、買い物に訪れた来場者に、アンケートに協力いただきながら、浄化槽の役割や、維持管理の重要性を啓発する形で実施し、浄化槽の適正な維持管理に関するパンフレットの配布と、アンケート協力者には、環境に配慮した粗品を進呈した。

10月の気候の良い時期ということもあり、それぞれの会場には、約300～700名の買い物客があり、予定した内容で事業が実施出来たが、来場者からは、「点検・清掃・検査、全部しとるよ」とか、「五千円高いけど検査受けよるけん」などの活動に対する手応えも得られた。

また鳴門会場では、ケーブルテレビ鳴門の取材もあり、当日の啓発活動の様子が後日放映され、活動の様子がメディアで紹介された。

浄化槽の適正な維持管理の普及啓発活動は、今回実施した、10月の浄化槽月間と、6月の環境月間に実施しており、浄化槽月間を県主催で、環境月間を環境技術センター主催で実施している。



ザ・ビッグエクストラ
阿南店

ゆめタウン徳島



パワーシティー鳴門



【第2回浄化槽技術講習会開催】

県環境技術センターは9月12日、徳島中央テクノスクールで第2回浄化槽技術講習会を開催した。



今年度2回目となる当講習では、会員事業所社員45名、行政担当者4名、非会員1名の計50名が参加した。大坂会長の開会挨拶の後、第1時限目は「最新浄化槽の構造と維持管理について」、一般社団法人浄化槽システム協会和田吉弘技術委員会副委員長が、浄化槽に関する変遷や国の動向、また合併処理浄化槽の進歩について説明した後、各メーカーの浄化槽の構造やその維持管理方法について詳しく解説した。

続いて2時限目では「汚水処理に出現する微生物について」と題し、阿南工業高等専門学校川上周司助教が様々な微生物の紹介やその分類、浄化槽内の水質に応じた様々なケースの微生物の生態系を紹介し、浄化槽の処理状況が把握できることを説明した。

講習会終了後、参加者には、その分野の技術を習得したとする修了証が交付された。

なお、次回浄化槽技術講習会は下記のとおり開催する予定。

第3回技術講習会

日時 平成27年1月16日(金) 午後1時～

内容・「浄化槽の凝集作用の原理と凝集試験について」

・「浄化槽の修理・改善について」

・「浄化槽の維持管理状況について」

プライバシーマーク取得

環境技術センターが、平成25年2月より取り組んできた、プライバシーマークの審査が承認され、平成26年9月18日、一般社団法人日本情報経済社会推進協会から、プライバシーマーク付与適格通知及び登録証が届いた。

これにより、平成26年10月よりプライバシーマークの使用が可能となり、個人情報保護マネジメントシステムに適合し、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者として認定された。

<Pマーク取得の取組>

平成25年2月	活動開始
平成26年4月	内部監査
平成26年7月	付与適格性審査
平成26年9月	付与契約
平成26年10月～	使用開始



第12回 阿南市こどもフェスティバル開催

平成26年10月26日(日)、阿南市見能林町にある阿南工業高等専門学校において「第12回阿南市こどもフェスティバル」(主催:阿南市こどもフェスティバル実行委員会・阿南市・阿南市教育委員会、共催:阿南工業高等専門学校)が開催された。

今年のテーマは「夢を広げよう!さわって つくって 楽しんで・・・」と題して、①「こどもが遊ぶ」、②「こどもが試す」、③「こどもがものづくりをする」④「こどもが大型体験をする」の4つの領域に分けて大人と子供が一体で楽しめるために、阿南市内の各団体や学校等から趣向を凝らした催し物やイベントが出展され、天候も快晴とあって大勢の親子連れでにぎわった。

環境技術センターが幹事として活動している「みなみから届ける環づくり会議」も例年通り出展し、センターもその一員として参加した。

今回も紙作りや、「オヤニラミ」等の魚の展示の他、センターからは環境学習や昨年のイベントで好評であった「アサリによる汚水の浄化実験コーナー」を提供出展し、米のとぎ汁をアサリの水槽に入れて水がキレイになる様子を観察してもらった。ブースに集まった大勢の子供や保護者らは、センター職員から生物の働きについて解説を聞きながら興味深そうに観察していた。



第8回 親睦ソフトボール大会 香川県が3連覇 を開催

10月25日土曜日、浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の親睦ソフトボール大会が、上板町ファミリースポーツ公園内グラウンドで開催された。今年度は徳島県が主催県となり、四国各県から136名が参加した。

本県選手団は、ホスト県であることから、「今年こそ優勝だ!」と、気合いを入れて挑んだ大会であり、開会式の選手宣誓では、選手代表の村田検査員が、川人次長の指示で、審判にワ〇ロのみかんを配り終えたことを報告、他県にその気合いを見せつけた。

抽選により、第一試合は高知県との対戦、終盤までは接戦を演じていたが最終回に大量失点であえなく敗退、第二試合では優勝候補筆頭の香川県と対戦するため、秘密兵器として参加していただいた監事の志摩弁護士を先発メンバーとして投入、ピッチャーとして好

投していたが、守りのミスが響き、残念ながら敗退した。二試合を終え意気消沈していたところだったが、第三試合の愛媛県戦では、女性枠で参加していた安藤希望さんが好投、最後はきわどい判定があったものの、ようやくみかんが本来の機能を発揮し、本県唯一の勝利投手となったが、大会成績は、三位に終わった。

競技終了後、藍住町のみちよ亭に場所を移し、懇親会と表彰式を行った。

表彰式では、四国地区協議会会長の寺井会長から優勝の香川県チームに優勝杯と副賞を授与、準優勝の高知県チームには副賞が授与された。また、個人賞で本県から二試合目で活躍した志摩監事が優秀賞、ホームランを打った須藤君、勝利投手の安藤さんが敢闘賞を受賞した。

今大会は、新設された事業企画推進室が総力を挙げ取り組んだソフトボール大会であったが、優勝するための企画が、姑息な「みかん作戦」だけだったことについて、宮内室長は自分の企画力のなさを猛省していた。しかし、来年こそは、勝てる企画を提案し、必ず優勝すると意気込んでいたが、今のところ「飛ばないボールにすり替える作戦」しか思いつかないと語り、原岡専務から、「ボールより先に心を入れ替えた方がええんちゃう?!」と注意を受けていた。



事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。



〇11条検査

日程:平成26年12月1日~12月26日

地区:美馬市・三好市・吉野川市・阿波市・藍住町・北島町・石井町・上板町・神山町・佐那河内村

〇7条検査

日程:平成26年12月1日~12月26日

地区:徳島市・吉野川市・阿波市・美馬市・三好市・藍住町・北島町・石井町・板野町・つるぎ町・東みよし町

〇那賀町・神山町協議会

日程:平成26年12月1日~12月26日

地区:那賀町全域・神山町全域

